

総務常任委員会視察 ① 福岡県福岡市 2017.5.8

町田市議会議員 総務常任委員 吉田つとむ
産業及び観光の振興について
(国家戦略道路占用事業)

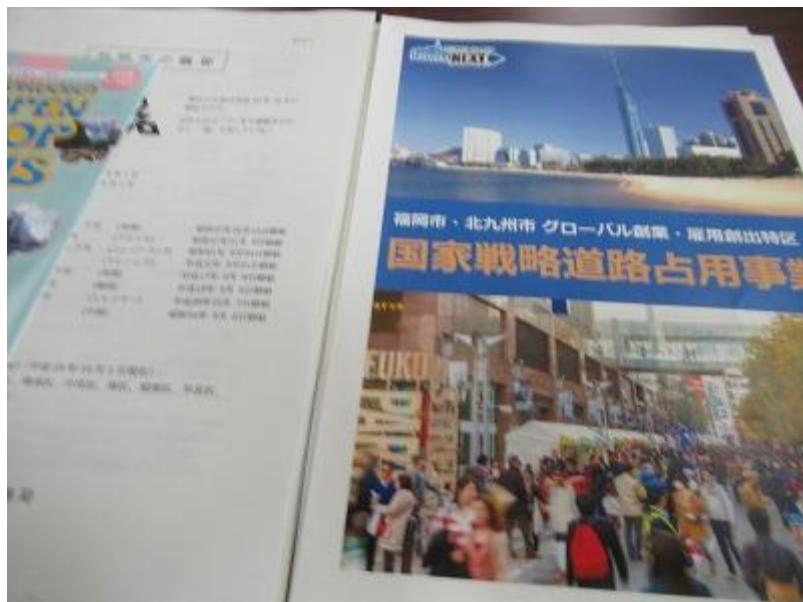
<概要>

福岡市の「国家戦略道路占用事業」は、平成26年5月に指定された、国家戦略特区の「グローバル創業・雇用創出特区」に指定された事業です。

道路法の特例を活用した「公道を活用した賑わい創出のためのイベントなどを開催することにより、MICEの魅力向上及び更なる誘致促進を図るとされています。

MICE とは、国際会議や企業の研修・セミナーや展示会などのビジネス関連の大規模イベントのことで、合わせて、それを開催するための大型施設のこととされています。

いただいた資料では、日本の国際会議開催件数2015年において、東京(23区)557件に次いで福岡市は第2位365件とされています。ちなみに、仙台市が第3位、京都市が第4位、横浜市が第5位となっていますが、第3位以降は毎年変動があるのが特徴でした。



MICE の参加者がその終了後、おもてなしイベントや懇親会が開催できることが特徴になっているとのことでした。



<評価について>

この事業の活動実績は、平成 26 年から 28 年の 3 年間で 27 件の事業が展開されたとのことでした。最大の事業は、We Love 天神協議会が実施するもので、来場者数 12 万人（2 日間）、経済波及効果は 14 億円とされています。*この波及効果の計算式を尋ねた委員がありました。

国家戦略特区の「グローバル創業・雇用創出特区」においては、道路法の規制緩和を狙って設定されたケースですが、道路交通法の規制の緩和にはつながっていないとのことで、私どもが考える「特区」のものとは大きなずれの意識を持ちました。

福岡市では、5 月のイベントでは全国最大の動員数を持つ「博多どんたく」、壮大なスケールと勇壮な動きを見せる博多山笠の伝統行事が開催されており、それらと比定した発想とはだいぶ異なったものでした。なお、博多山笠の人形は毎年作り変えるのが特徴で、各山笠の運営者が博多人形師に毎年制作依頼するものです。他の山笠や山鉾類が伝統の人形を飾るのと違って、毎年新作を観客がその作家が誰が担当するか、その作品がどのようなものかを楽しみにするのが特徴です。博多人形と言う伝統工芸の文化が背景にあります。ちなみに、吉田つとむは、その博多人形界で 12 年間、働いていました。そうしたことで、業界を去り、東京に来てからも、日本橋三越で開催される新作博多人形展をたびたび参照しています。

また、福岡（博多）の特徴は、ラーメンやおでんに限らず、豊富な食べ物が楽しめる露天の屋台が特徴と思い込んでいましたが、中州の川べりから一掃さ

れており、「博多らしさ」が中州や天神の中心部にうかがえないのが残念でした。

なお、いただいた人口動態資料で、福岡市ではまだまだ人口の増加がみられました。その中で、中心区部（博多区、中央区、南区）では人口の増加が目立っていますが、周辺区部では人口減少が起きているのが気になりました。私が住んでいた中央区では一番多くの人口増がありました。福岡市庁舎の議事堂フロアーから見る光景ではマンション群が目立っていました。ただし、超高層ビルが一切ないのが福岡都心部の特徴を為していました。城南区を通る地下鉄線の中心部への延長工事が完了すれば、また、福岡市の発展の展望が変わることを感じました。